



2026.

2.15 **日**

10:30~17:00

(途中昼休憩等を含む)

**聴講無料**  
事前申込必要

定員 30 名

※ 未就学児童の入場は  
ご遠慮ください。

2023年、近代芸能史の先人である倉田喜弘氏の  
膨大な著作や資料が、日本伝統音楽研究センター  
に寄託されました。

倉田氏の先駆的業績に敬意と感謝を表して、寄託  
された資料をもとに、各分野の専門家の視点から  
さまざまな形で紹介いたします。

京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター  
細川周平所長退任記念シンポジウム

# 細かさの 偉大さ

近代芸能史研究家  
倉田喜弘の仕事

会場 京都市立芸術大学  
伝音セミナールーム

京都市下京区下之町57-1



## 応募方法

WEB申込のみ  
(先着順)

2026年1月20日(火)10:00~申込受付開始

下記の案内ページに設置する専用申込フォームよりお申し込みください。

※ 開催日の1週間前を目処に受付を終了します。(ただし定員に達した場合はその時点で受付を終了)

[https://www.kcua.ac.jp/20260215\\_denon\\_hosokawa](https://www.kcua.ac.jp/20260215_denon_hosokawa)



企画 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター <https://rijtm.kcua.ac.jp>

主催 京都市立芸術大学 <https://www.kcua.ac.jp>

問合せ 京都市立芸術大学事務局 共創テラス・連携推進課

TEL 075-585-2006 (平日 8:30~17:15) E-mail [public@kcua.ac.jp](mailto:public@kcua.ac.jp)

京都市立芸術大学  
Kyoto City University of Arts

KYOGEI  
TERRACE

10:30～ 第1部 倉田喜弘コレクションの概要

●スクラップ帳から築く大きな歴史

細川 周平 (日本伝統音楽研究センター所長)

●倉田資料(細かさ)の概要

—日本伝統音楽研究センター委託研究から—

竹内 有一 (日本伝統音楽研究センター教授)

神津 武男 (日本伝統音楽研究センター客員研究員)

小西 志保 (日本伝統音楽研究センター共同研究員)

●愛読書・日本レコード文化史

毛利 真人 (日本伝統音楽研究センター客員研究員)

～昼休憩（1時間程度）～

13:00頃～ 第2部 近代芸能史の確定

●「大東亞」レコード文化史の系譜 —倉田喜弘、小泉文夫、細川周平—

鈴木 聖子 (大阪大学大学院人文学研究科准教授)

●近代能楽史と倉田『明治の能楽』『大正の能楽』の読み方

中尾 薫 (大阪大学大学院人文学研究科教授)

●倉田喜弘と都市の文化史

齋藤 桂 (日本伝統音楽研究センター准教授)

●川上音二郎の表象 —倉田以前・倉田以後

土田 牧子 (東京藝術大学音楽学部准教授)

～休憩～

15:00頃～ 第3部 三昧線音楽の刷新

●はうた・三昧線音楽・倉田

竹内 有一 (日本伝統音楽研究センター教授)

●〈実演付き〉♪端唄あれこれ —時代の息吹を唄う

重森 三果 (邦楽家)

全体のまとめ～討論会～

（話題提供者）輪島 裕介 (大阪大学大学院文学研究科教授)

\*都合により内容を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

細川 周平 ほそかわ しゅうへい

1955年大阪生まれ。1988年東京藝術大学音楽研究科博士課程修了、人文博士号を取得。1996年より東京工業大学社会理工学科助教授を経て2004年より国際日本文化研究センターに所属（2020年同センター名誉教授）。その間、ミシガン大学（アメリカ）など海外でも日本文化について授業・講演を行ってきた。2022年より本学日本伝統音楽研究センター所長。

主な著書、編著に『近代日本の音楽百年』（2020年／岩波書店（全4巻）、芸術選奨・文部科学大臣賞評論等部門受賞、ミュージック・ベンカラブ音楽賞ボビュラー部門受賞）、『日系ブラジル移民文学—日本語の長い旅』（2012年／みすず書房、全2巻）、『遠きにありてつくるもの—日系ブラジル人の思い・ことば・芸能』（2008年／みすず書房、読売文学賞研究評論部門受賞）など多数。日本ボビュラー音楽学会員。



倉田喜弘氏の研究資料 “倉田資料”について

倉田喜弘氏が遺された膨大な著作と資料は、2023年に京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センターが倉田氏の御遺族から「寄託」というかたちで一時的にお預かりし、2023年度からの2年間の委託研究として仮目録の作成など資料の整理を行いました。今後は、当センターと他大学の研究機関との連携のもと、資料の保存・デジタル化を進める予定です。



倉田 喜弘 くらた よしひろ

1931年大阪生まれ。NHK在職中に芸能番組等の制作に貢献。レコードと新聞を学術資料として扱った第一人者で、『日本レコード文化史』、岩波文庫『江戸端唄集』『近代はやり唄集』、国立劇場資料集の編纂など、近世・近代音楽の業績多数。夫人は端唄根岸流の根岸登喜子。2022年没。

会場 京都市立芸術大学  
伝音セミナールーム

京都市下京区下之町57-1 A棟1階

・地下鉄烏丸線・JR各線・近鉄京都線「京都」駅下車、JR京都駅中央口から徒歩6分  
・京阪電車「七条」駅下車 徒歩10分  
・市バス4・7・16・81・205・南5号系統「塩小路 高倉・京都市立芸術大学前」下車すぐ



◇構内に駐車場はございません。各種公共交通機関をご利用のうえご来場願います。

◇ご来場方法や座席等について特別な配慮を必要とされる方は、開催日の5日前までに共創テラス・連携推進課までご相談ください。  
ご希望に沿うよう可能な限り対応いたします。